



古来より鬼を
その身をもつて滅して来た
安倍一族

その技は安倍家の女
のみに受け継がれ
周囲の術師から穢れた一族と
呼ばれていた

安倍家現当主

安倍 遥

安倍家歴代最強の女



安倍家邸内

ダダッ

ガラ

小鬼

おや？

ここは鬼が来るような
場所ではありませんよ

悪い事は言いません
立ち去りなさい

そうはいかん
鬼祓い師
我らが天敵

その命貰い受ける

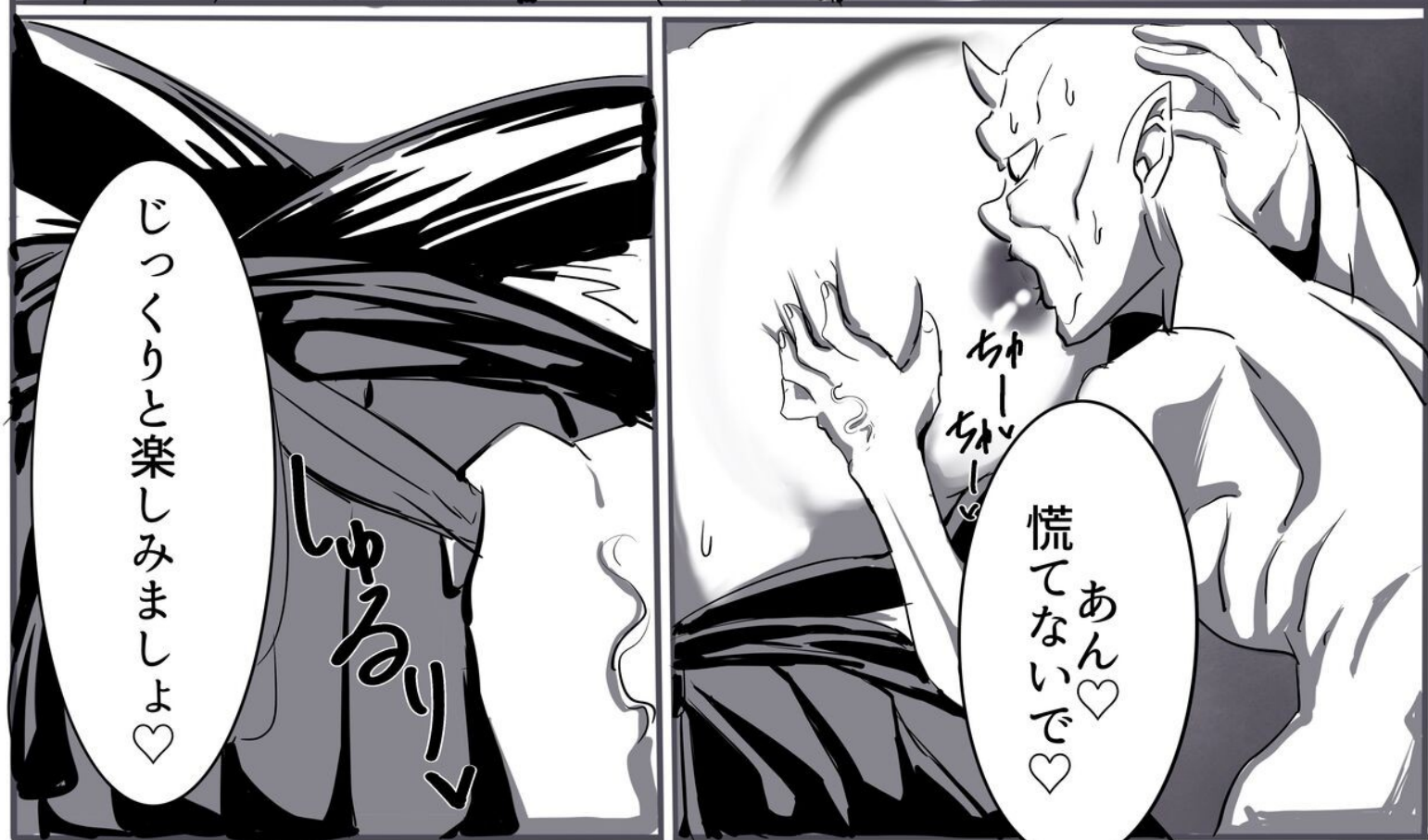
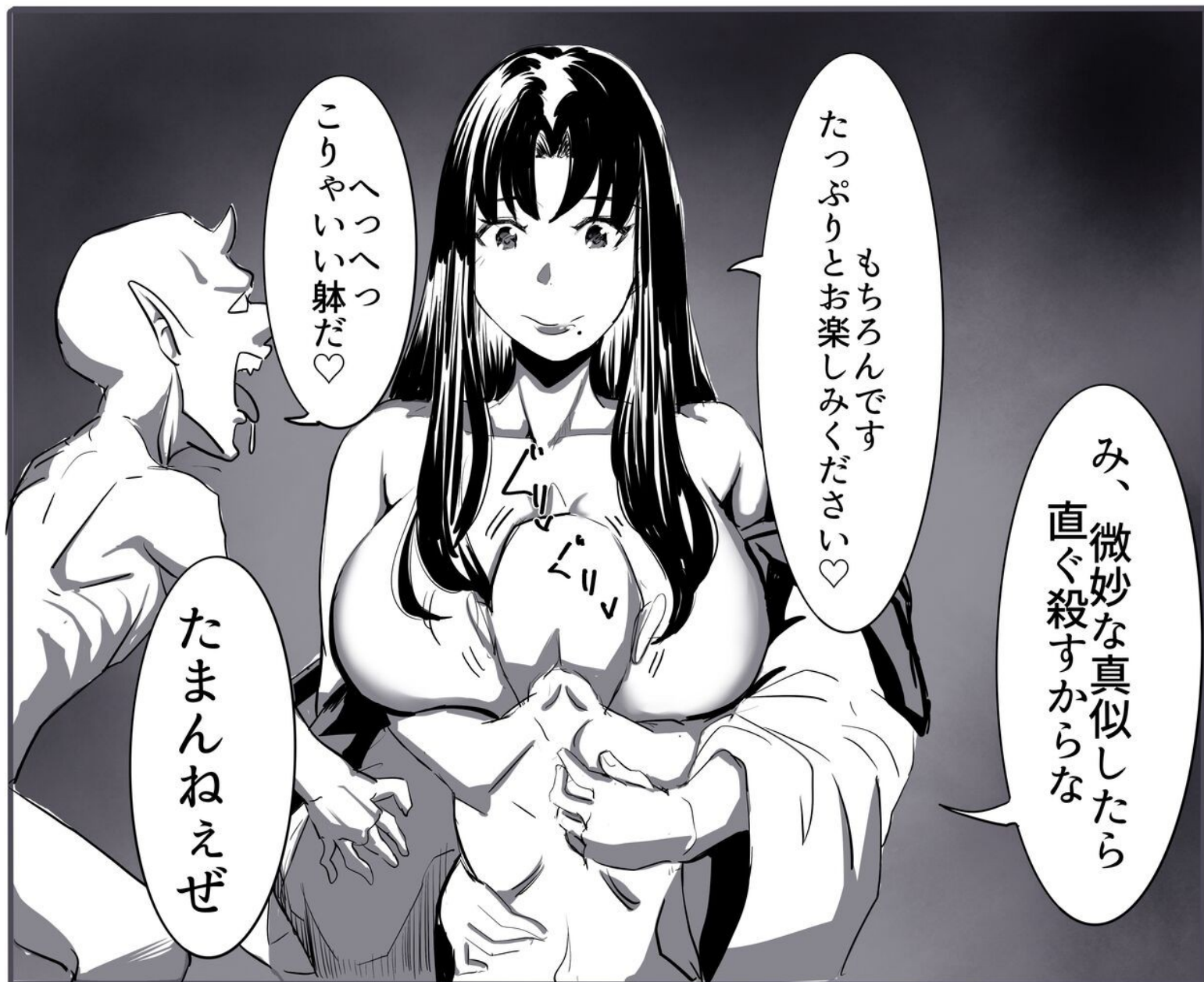
そうですか・
でもその前にこの躰

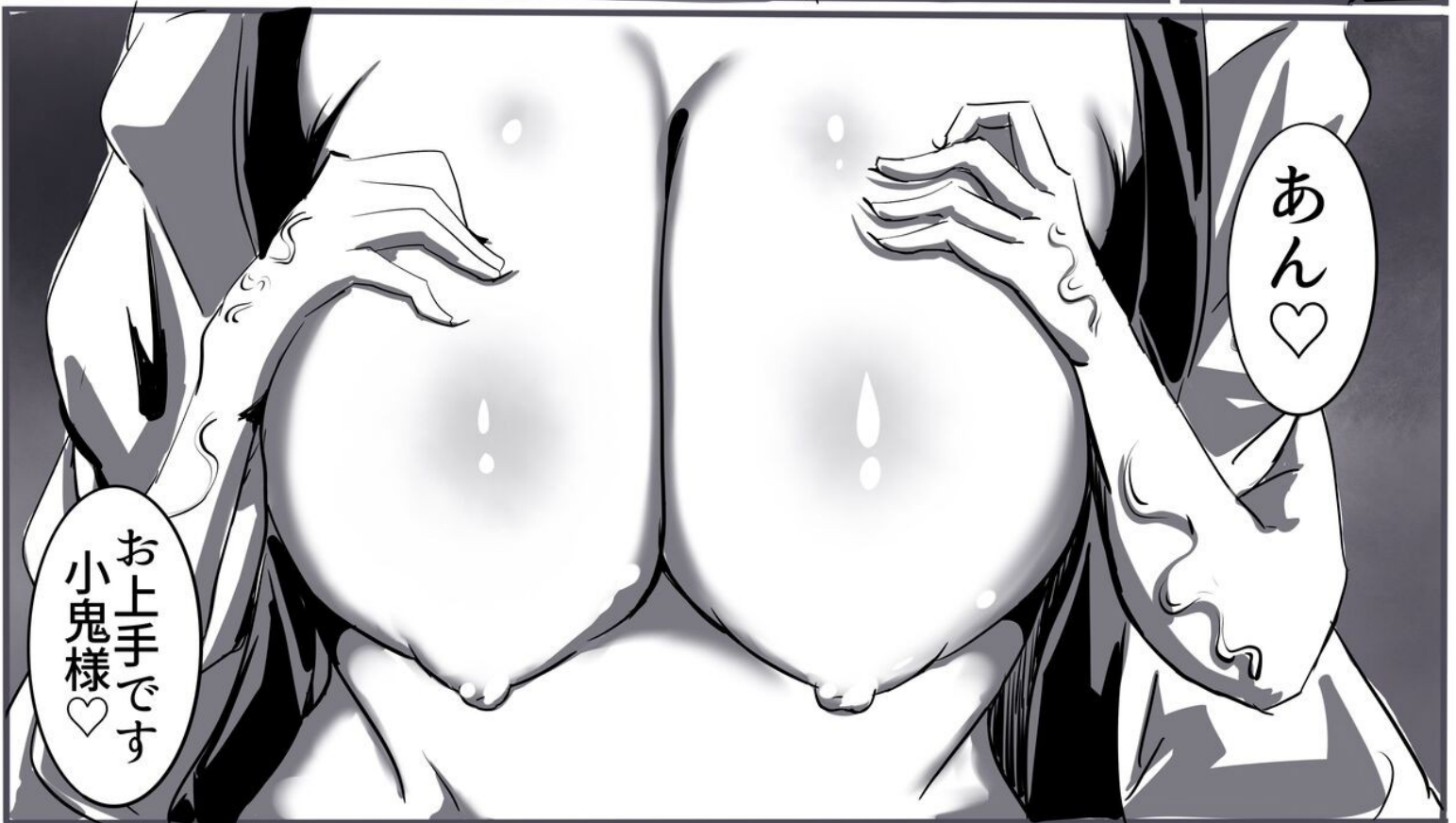
味わって
みませんか？

小鬼様♡

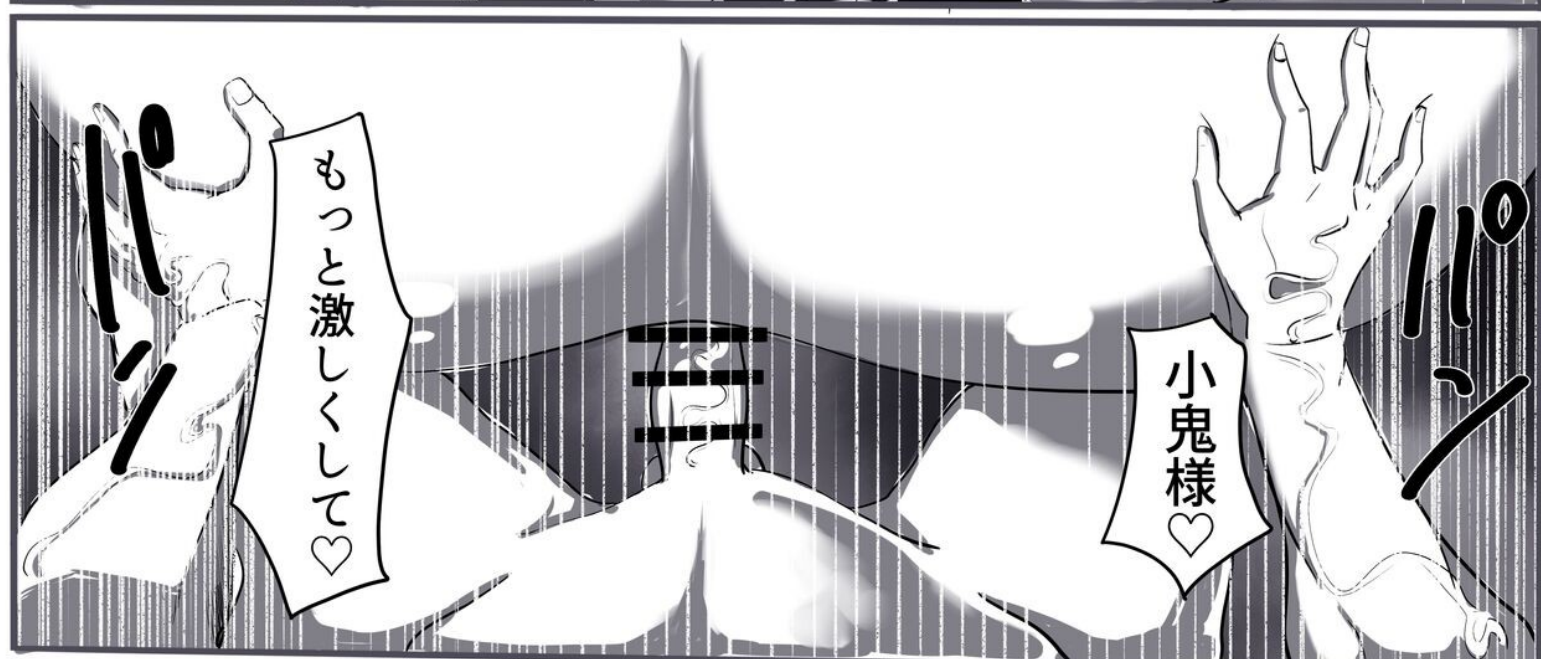
スー

イクリ♡











射精ぞ！



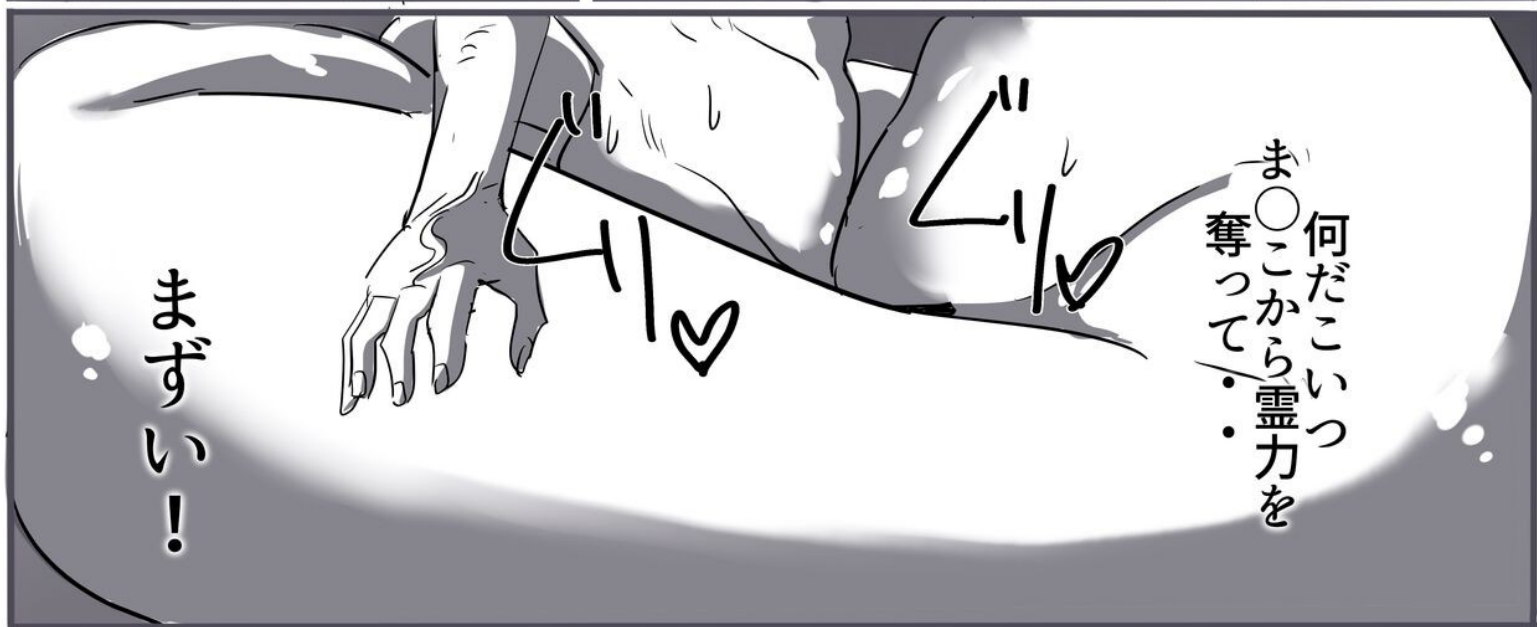
もう限界だ！

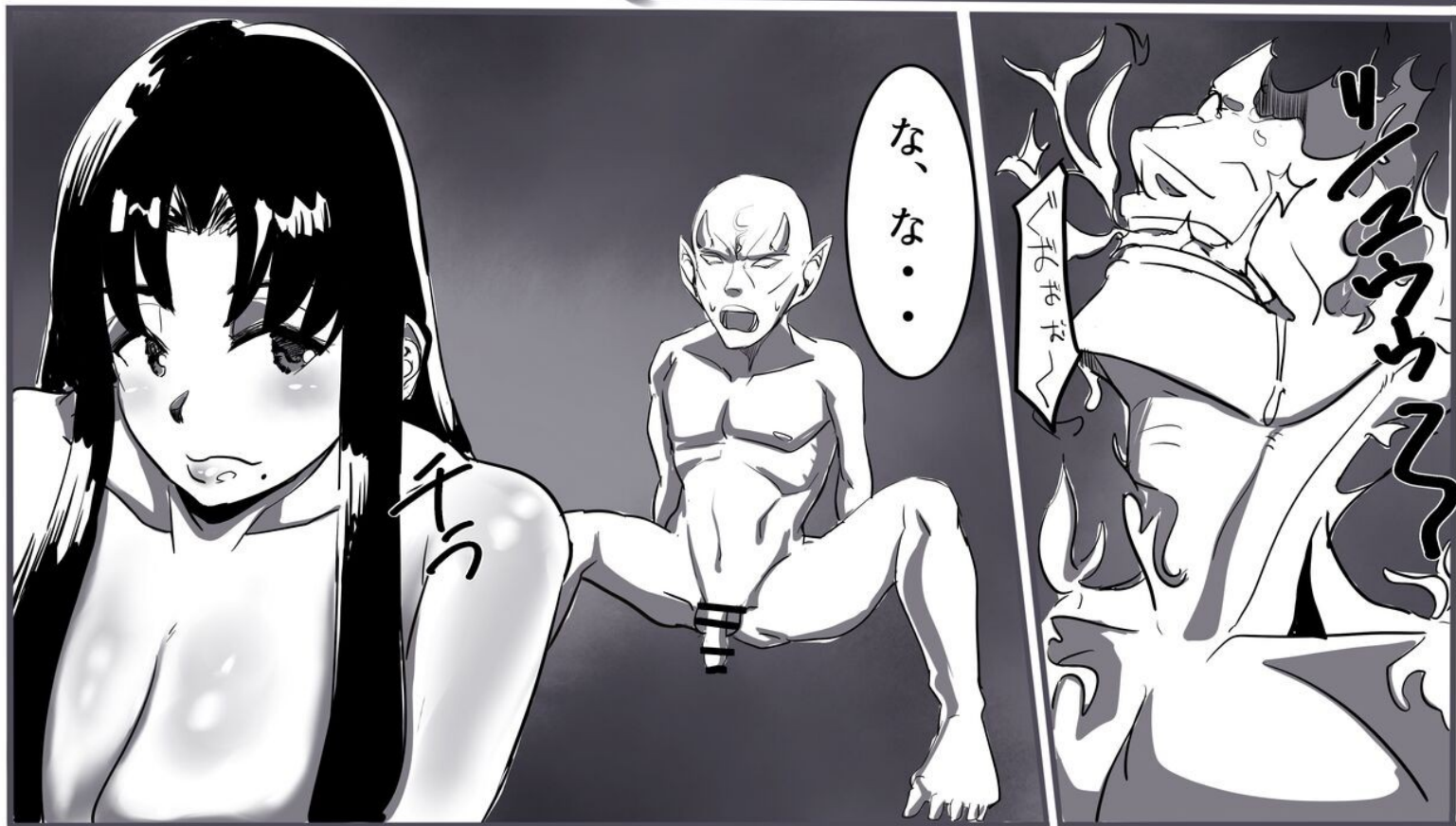


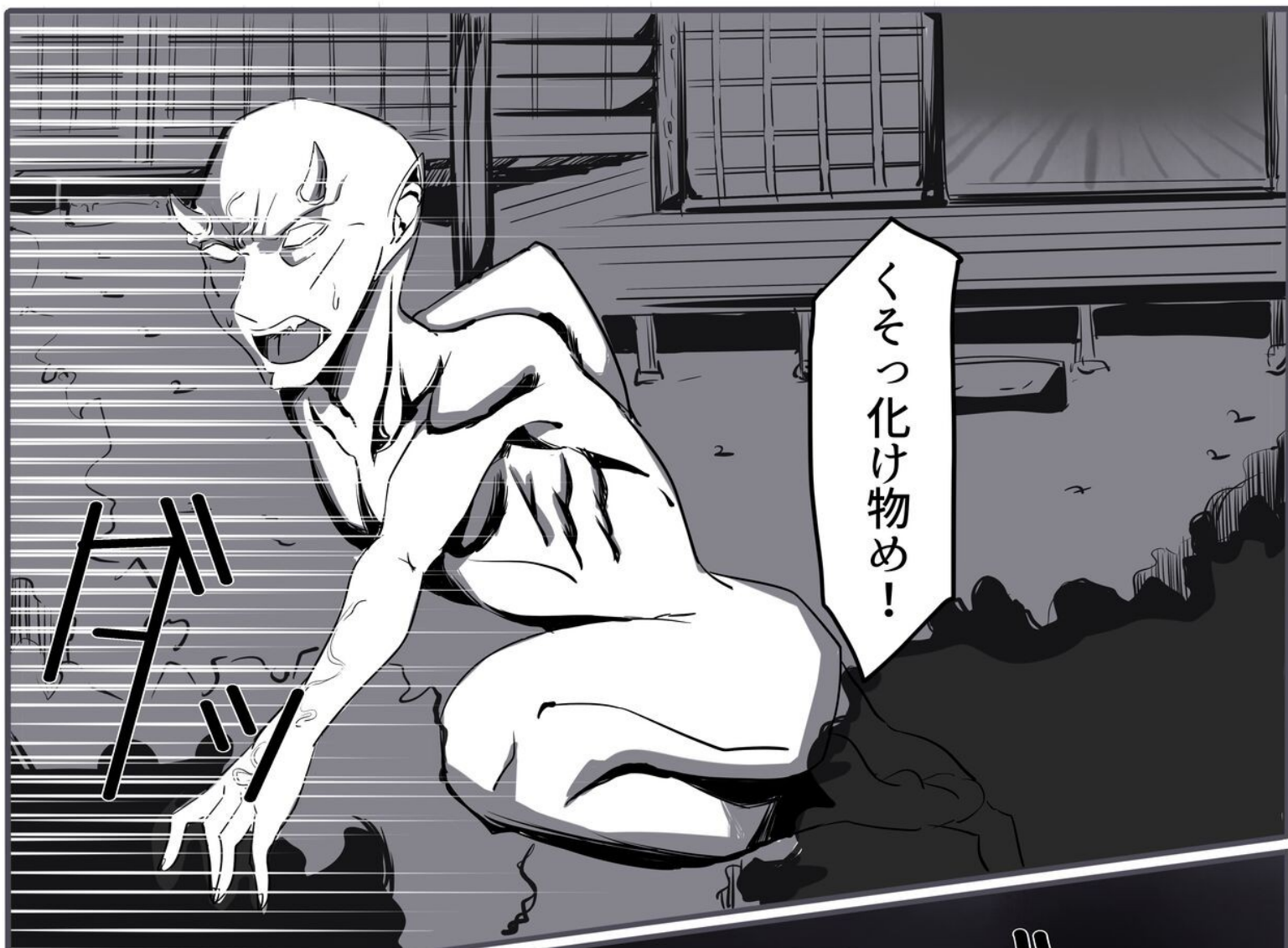
あら？
もう終わりのな的小鬼様

私はまだ

満足していませんよ？







くそっ 化け物め!



残念



せっかく来てくれたのに



ドオオオ

あら? 帰っちゃうの...



騒々しいぞ



兄貴ー!

兄貴ー!



安倍家の鬼祓い
アイツはヤベー女だ



あの穢れた一族か



チビ鬼が

静かにしねーか

大鬼
しゅら
修羅



面白いじゃねーか

オレ様が堕としてやるよ



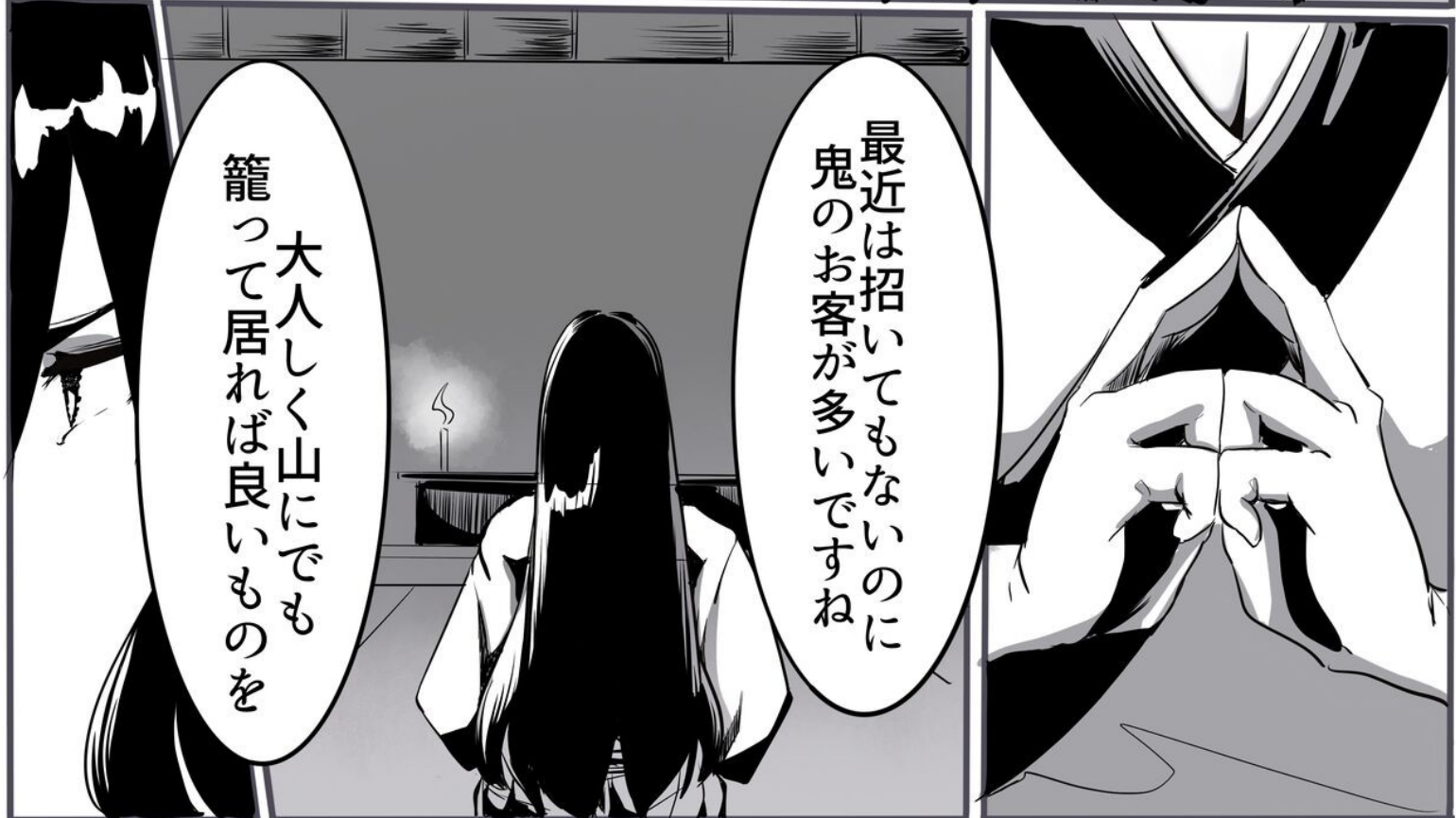
馬鹿がお前ら如きじゃあ
あの女の命は取れねえよ

今の当主は歴代最強と聞く



酒にも飽きた

次は女だ



最近はお招いてもないのに
鬼のお客が多いですね

大人しく山にでも
籠って居れば良いものを



良い女がいると聞いたもんでな
オレ様が抱くに値するか
品定めに来たのよ

成程
こりや良い女だ
山を降りた甲斐がある

大鬼のお眼鏡に叶うなんて
女冥利に尽きるわ

俺も安倍一族の秘伝の
鬼祓い術を味わえるとは
嬉しい限りだ

噂には聴いていた
その身を持って鬼と交じり合い
鬼の霊力を喰らい尽くす術

穢れた一族と
揶揄される所以

見せて貰おうか



大鬼様



そこまで望むのなら
安倍家秘伝の鬼祓い
味合わせてあげる♡



良いでしょう



鬼も人も
男など

グオオ

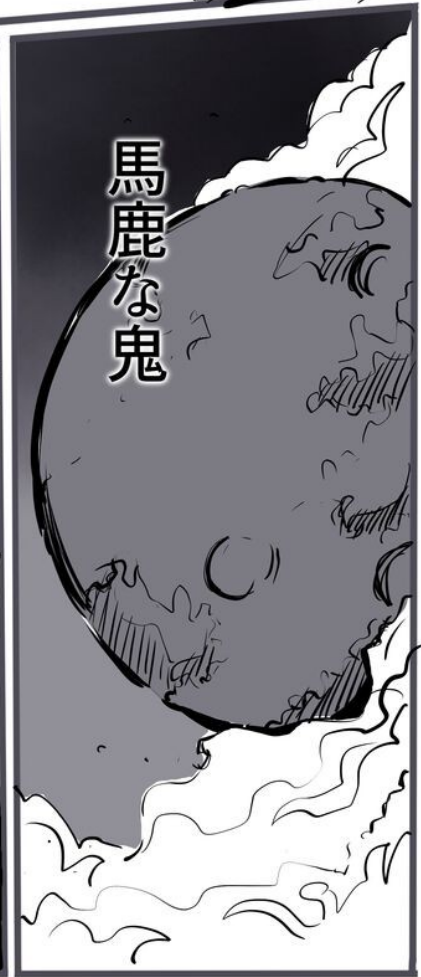
皆愚かな生き物だ・



この軀の恐ろしさも知らずに

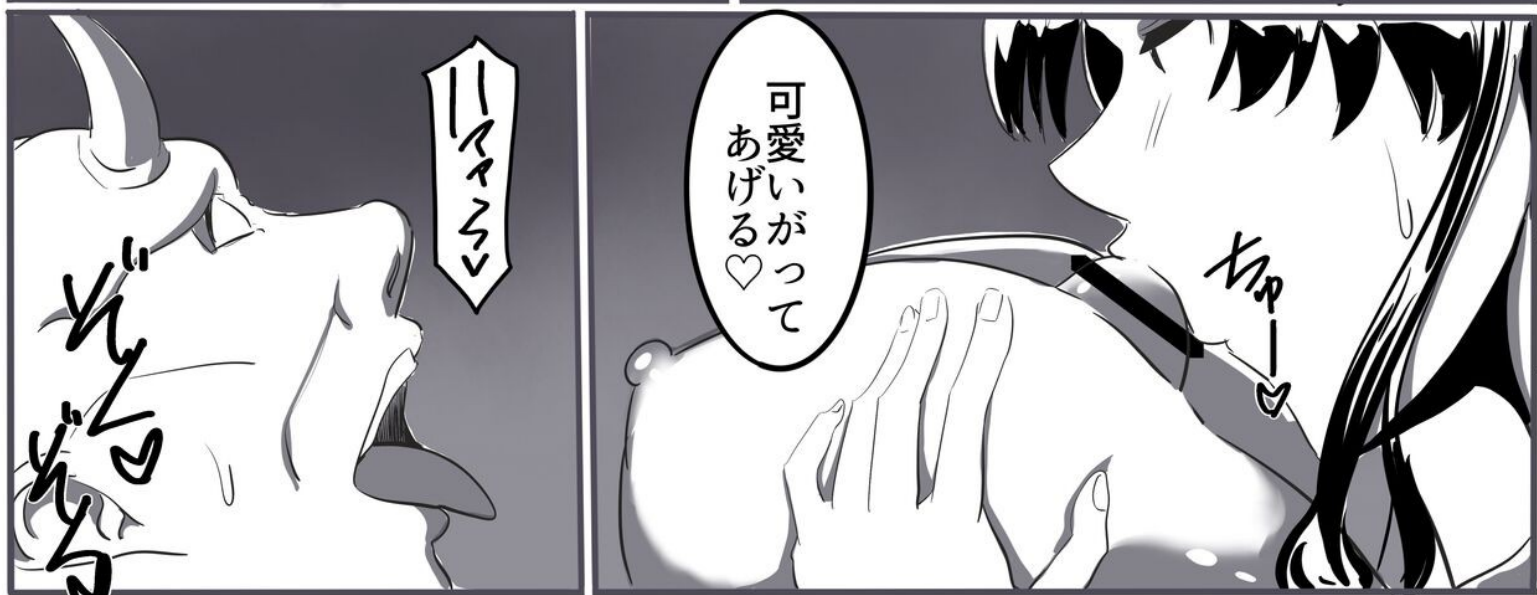
ザワ

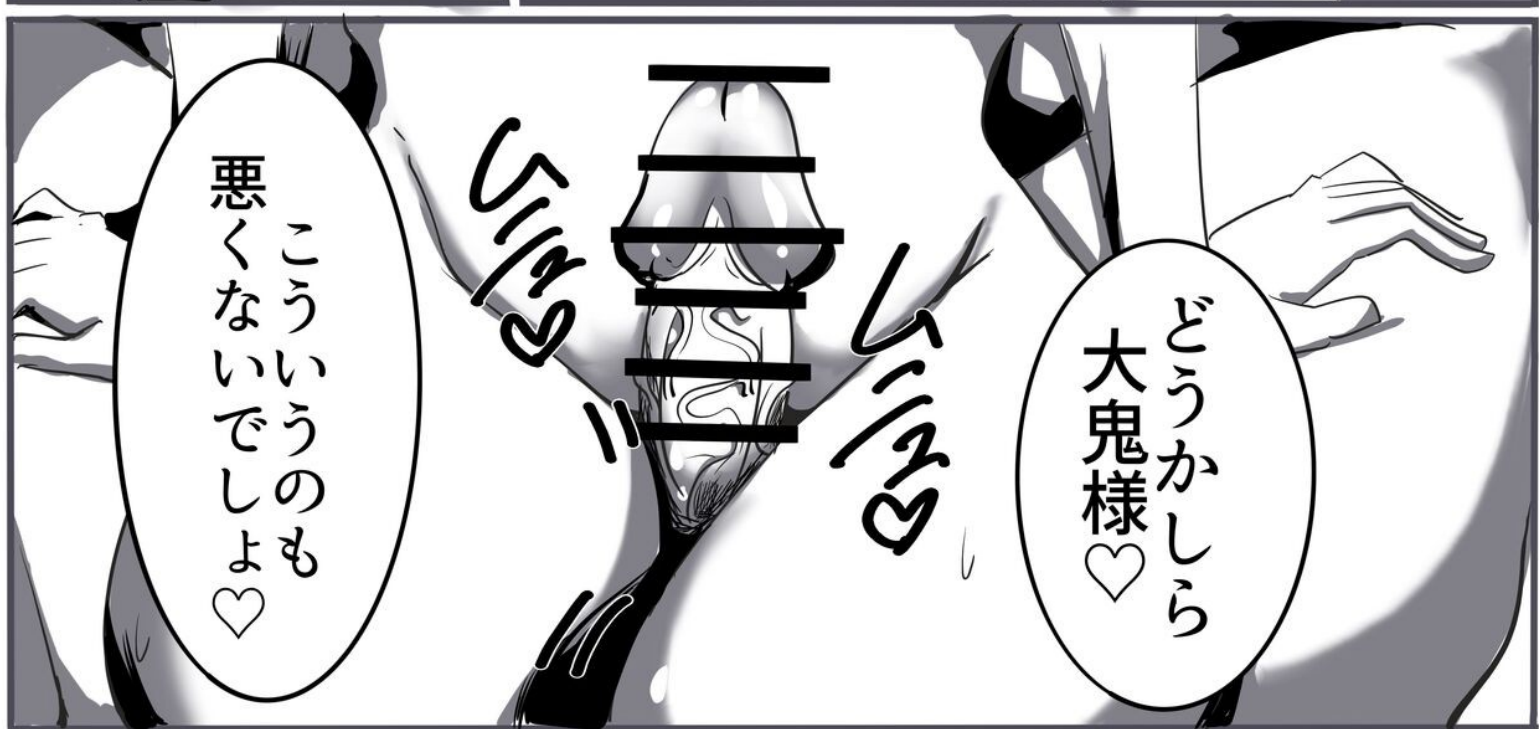
ザワ



馬鹿な鬼













覚悟してね♡

じっ♡

安倍家秘伝の肉壺を♡



そろそろ味わって
いただきますしうか



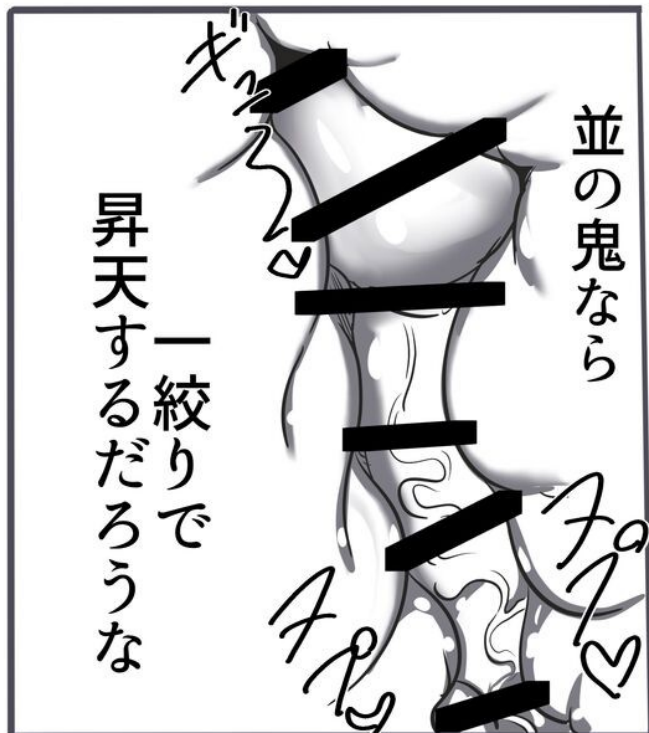
気持ちイイのは
ここからよ♡

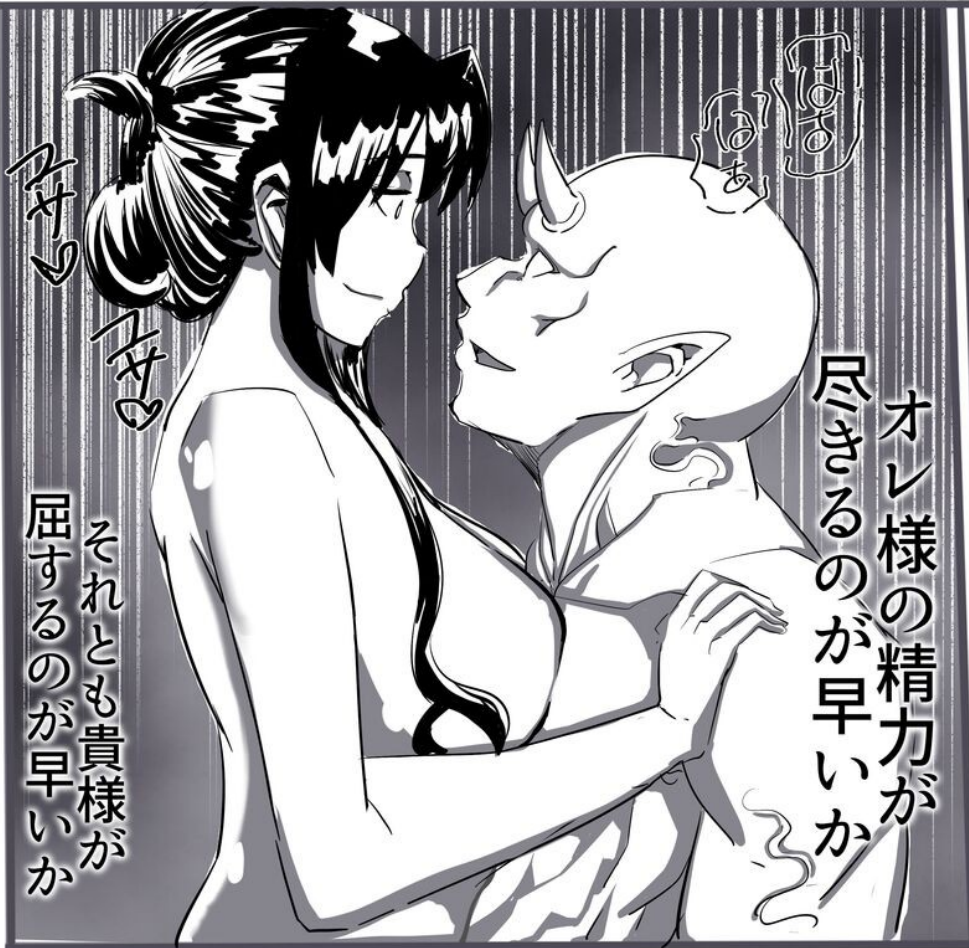


こ、これが件の肉壺
何という心地よさ♡

ヌーリー♡

ザラ♡





面白い根比べだな

オレ様の精力が
尽きるのが早いかな

それとも貴様が
屈するのが早いかな



二回目



必ずコイツを
オレ様の女にしてやる!



楽しんでくれてるかしら♡
どう？

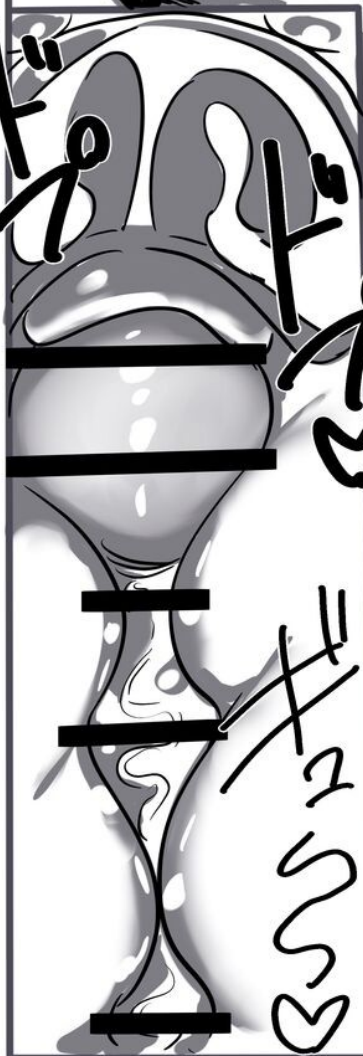
大鬼様♡

イサ♡

イサ♡

パ♡

パ♡



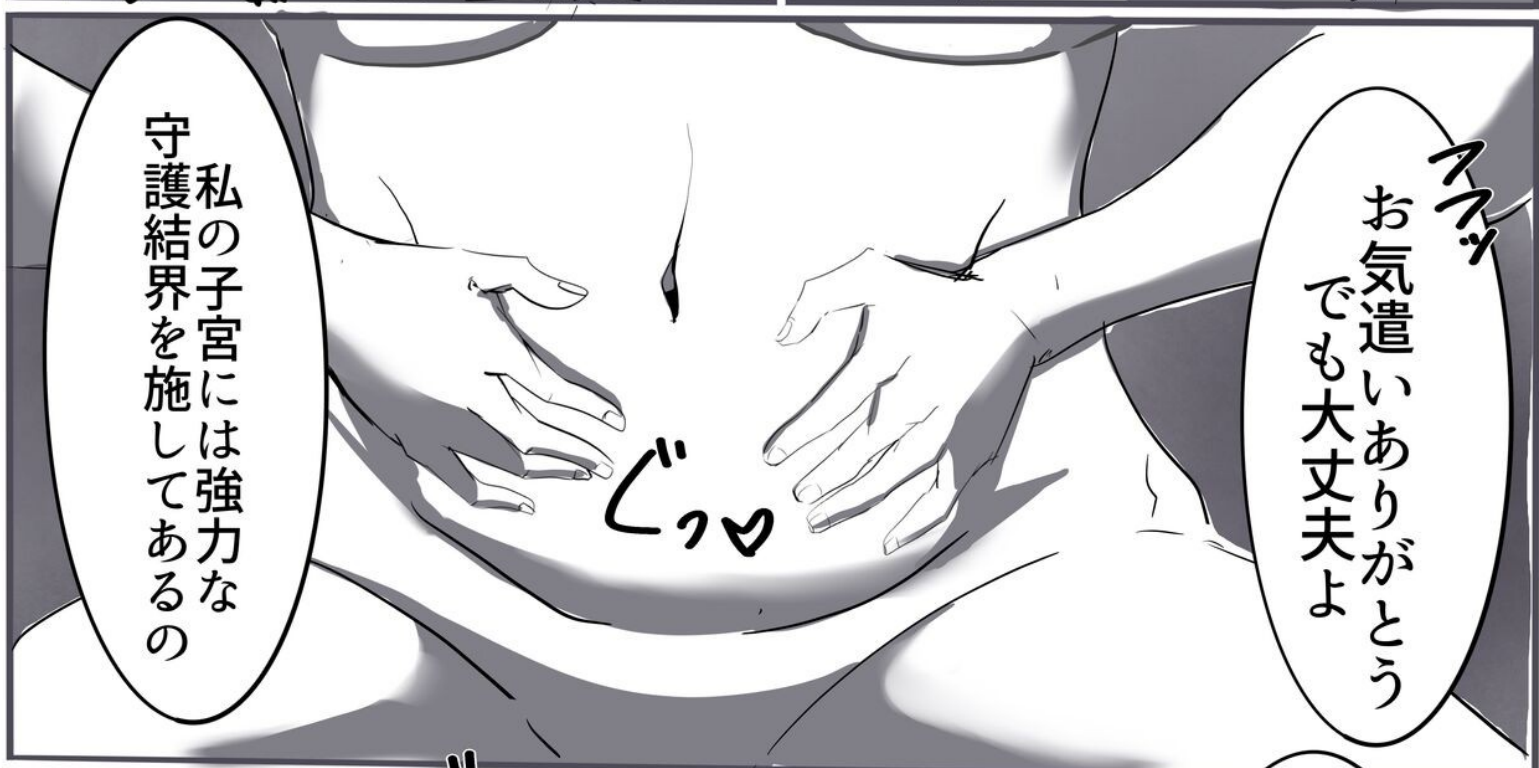
ああこりや堪らん

こんなにオレ様を
楽しませる女は初めてだ

はぁ♡

はぁ♡

ハハ♡



そうか・
そいつは残念だ

お前の様な
イイ女にこそ

オレ様の子を

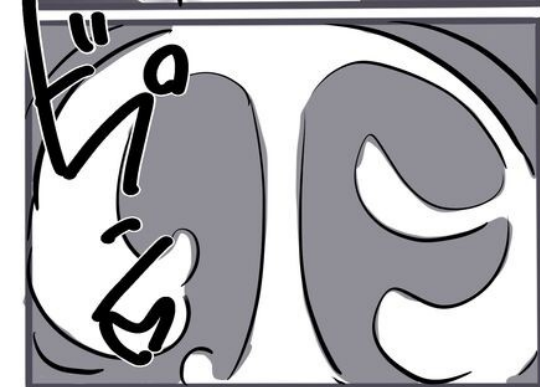
産んでもらい
たかったんだがなあ

本当に

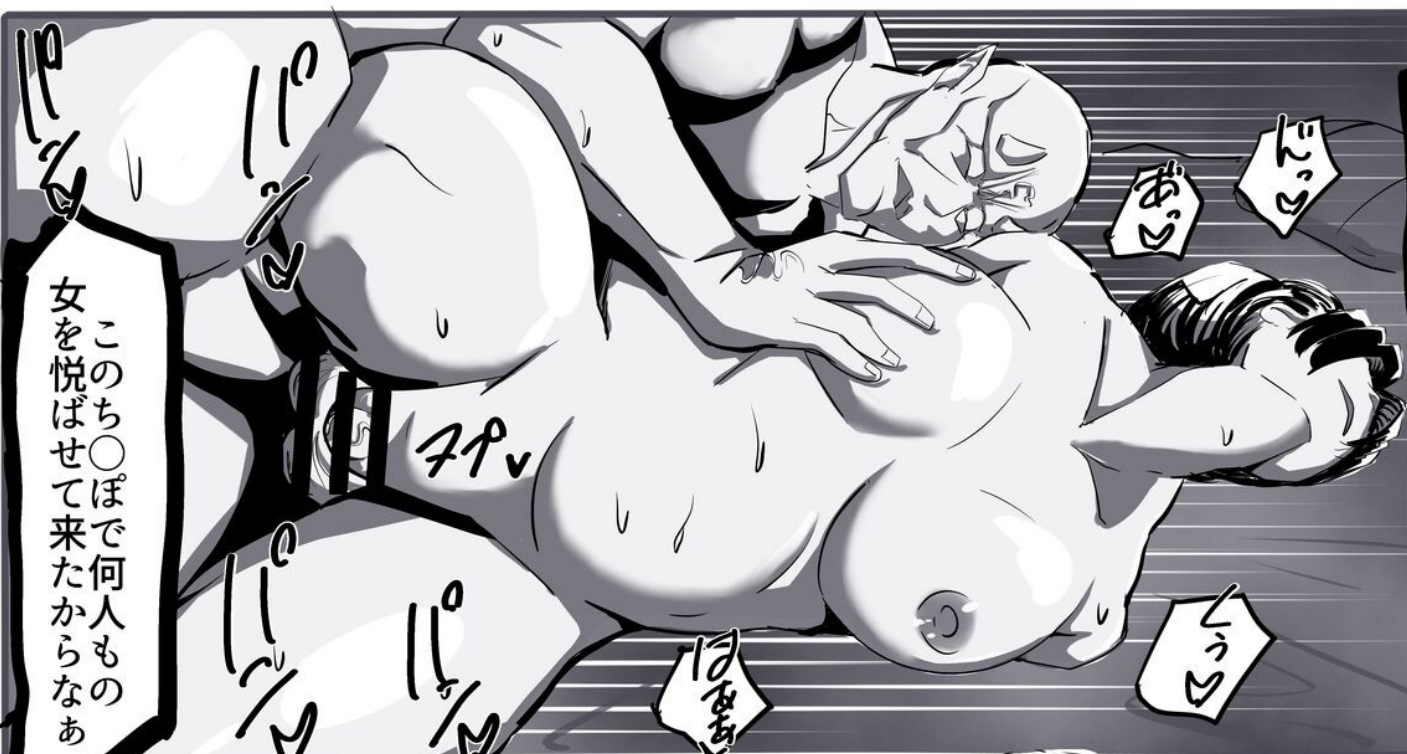
残念だ

ド
♡

ゴ
♡



どうだ、オレ様のち○ぽも
負けてないだろう？

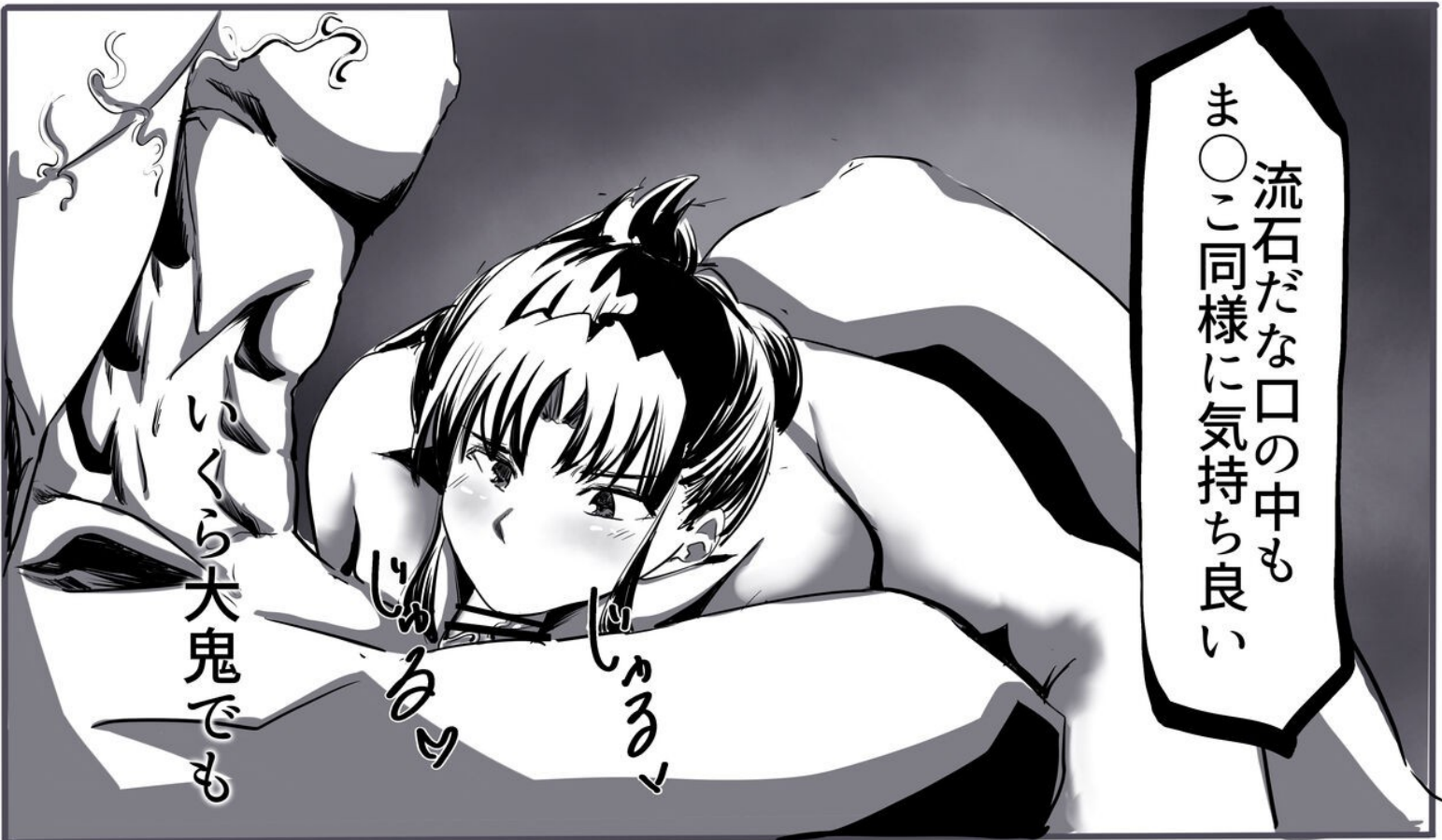


このち○ぽで何人もの
女を悦ばせて来たからなあ

この大鬼にペースを
握らせるのはまずい



主導権は私が握らないと



流石だな口の中も
ま〇こ同様に気持ち良い

いくら大鬼でも

いっくら

いっくら



この精力は異常

射精ぞ！

このままじゃ

こんな強敵初めて

いっくら

いっくら

いっくら

いっくら

いっくら

いっくら

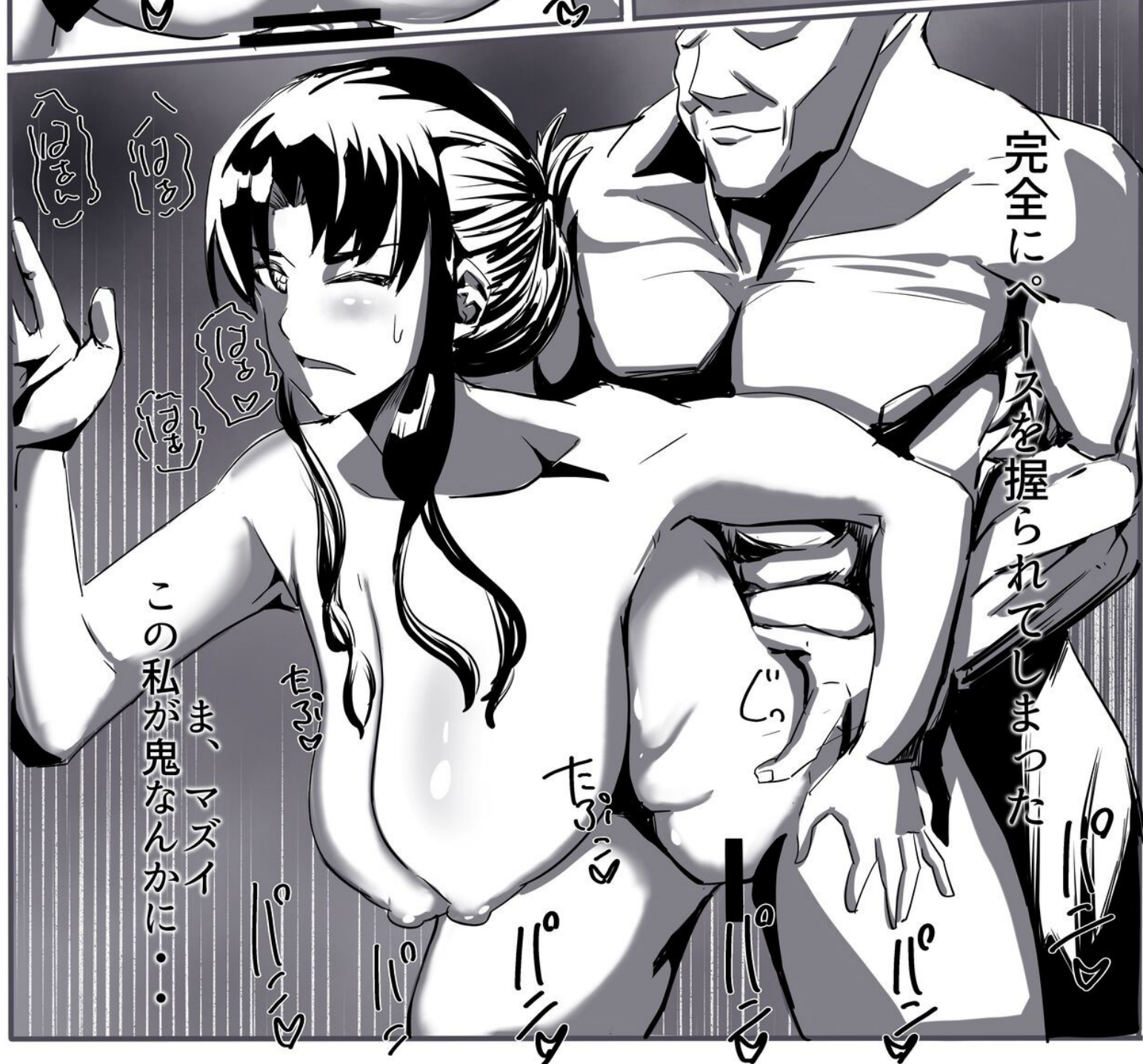
いっくら

いっくら



イイ尻しやがって

丈夫なガキを産めそうだな



完全にペースを握られてしまった

この私が鬼なんかになんか...

ま、マズイ

そんな
こんな事ある訳

鬼のち○ぽが
気持ちいい訳が

どんどん
追い込まれて

ダメっ昇ってくる！

気持ちいいのが昇って！
止められない！

ママ...





んっ、やだ私…
気を失って…



ようやく
お目覚めかな



悪いが気を失っている間に
縛らせてもらったよ

ぐっ

此処からは
オレ様が奉仕してやろう

お前絶頂の経験ないだろ

この縄
強力な霊力が込められている

簡単には解けない





「男」と言う存在に
何の期待もしていない

初め会った時
お前の目を見て気付いたんだ

なっ!!

カマッロ

失望と絶望が
みえた



安倍家でも抜きん出た
力を持った貴様は

人間の男は勿論、鬼ですら
その軀を満足させてくれる男に
出会わなかった

そうして貴様は絶頂も
女の幸せも知る事も出来ず

男に失望する他
なかった



安倍家とは罪深い



安倍家の術師としては
最高傑作でも

一人の女としては
幸せになれぬ悲劇



オレ様がその宿命から

解放してやろう

い、嫌
何をするの？

今のお前は手も足も縛られて
ただ嬲られるしかない

あゝ

「女」

あゝ

あゝ

ポクポク

分からせてやろう

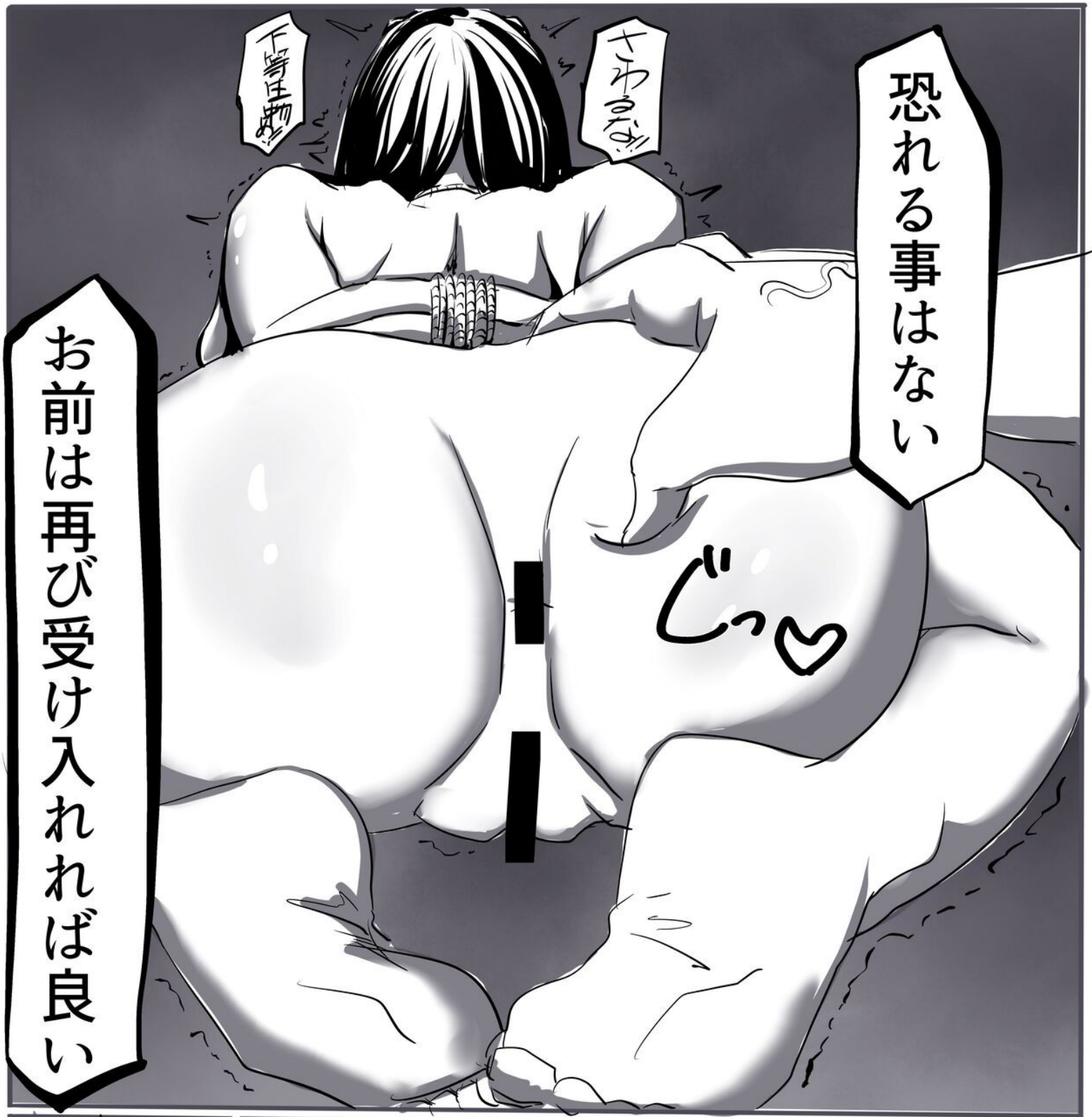
タラ... タラ...

貴様がか弱きただの「女」という事を

ぜろ

男に支配されるべき「女」

あゝ





ち○ぽが気持ちいい♡

あ♡

ギリ！



最初と全然

ち、違う！



この鬼のち○ぽは



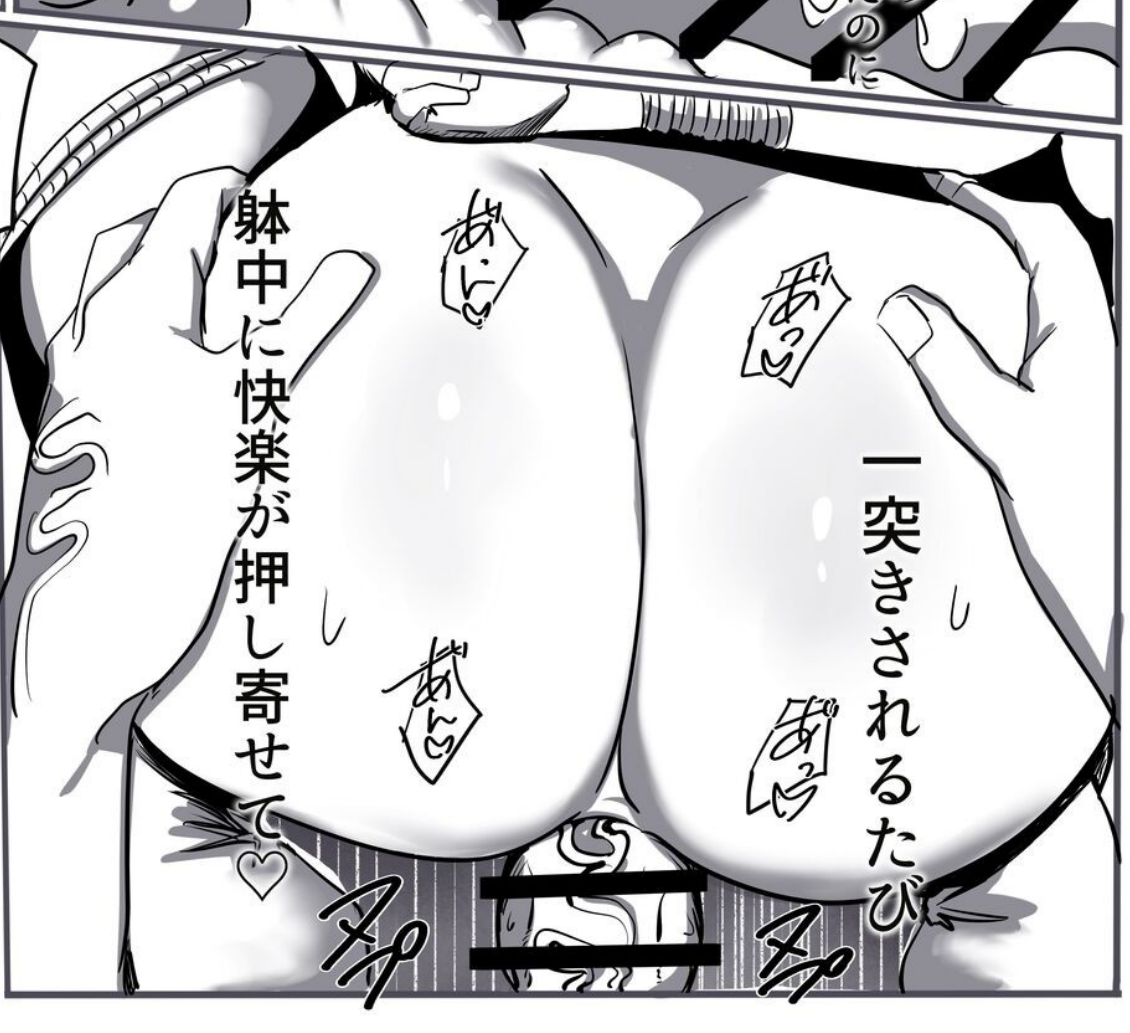
今までにはなかったのに
異物感しかなかったのに

アッ♡



アッ♡

アッ♡



体中に快楽が押し寄せて

一突きされるたび

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

アッ♡

アッ♡



ヒューン

アッ

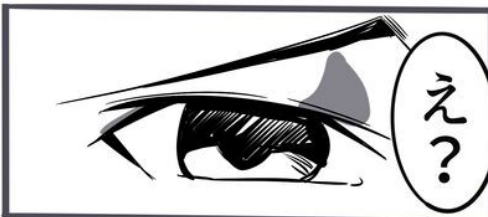
ズン

ドン
ドン

ズン



隙だらけだぞ



え？



フッフッフ
どうだ肉の快楽は
素晴らしいだろう？

お前の... 絶頂を...

お前の... 絶頂を...

お前の... 絶頂を...

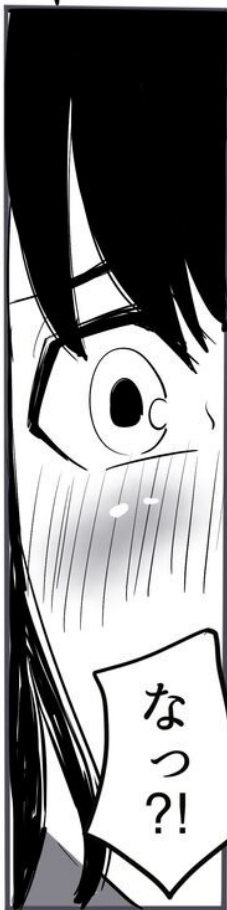


お前の絶頂を
封印した



もうお前は
イク事はできん

そんな...



なっ？！



鬼術・絶頂封印！



絶頂の味を覚えた直後に
絶頂を封じられるのは

はぁ
おん
おん

さぞ苦しかろう

このま○この
締め付けが

ぎゅん
ぎゅん

言葉よりも
雄弁に語って
おるわ

イキたければ
子宮の守護結界を解け

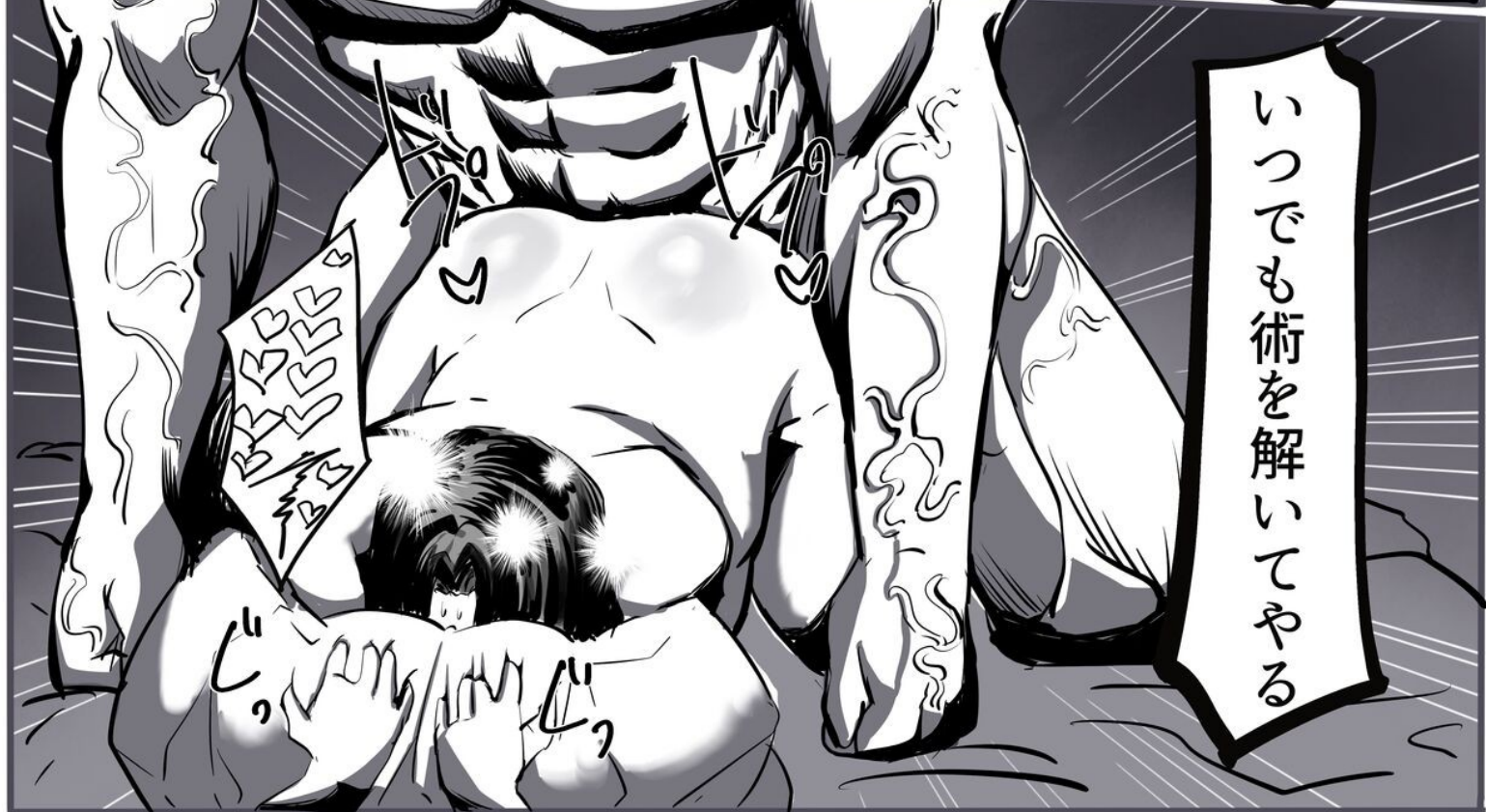
がっ

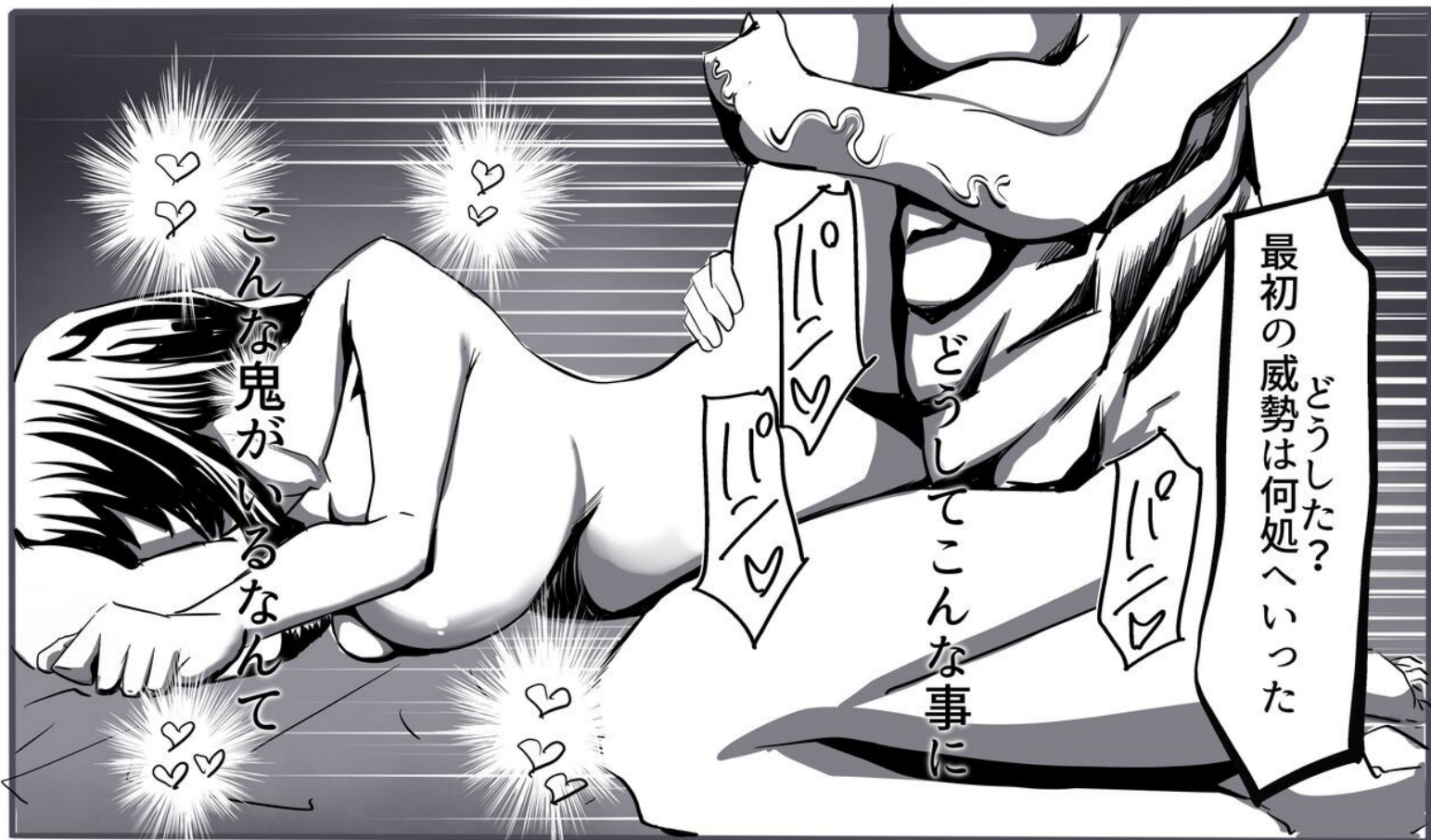
そうすれば
オレ様も術を解いてやる

ふ、ふざけないで！
私は安倍家の当主

快楽に屈したり
するものか！







どうした？
最初の威勢は何処へいった

どうしてこんな事に

こんな鬼がいるなんて



もつと見せてくれよ

確実に
孕まされる

安倍家の秘術を



オレ様を祓うんだろ？

結界を解けば



鬼の子を

妊娠してしまう♡

じっ

ダメっ
イッけない！

ぎゅ♡

こんなの苦しすぎる！

体が壊れる！

ザッ！

わ、わかったわ
私も結界を解くから！

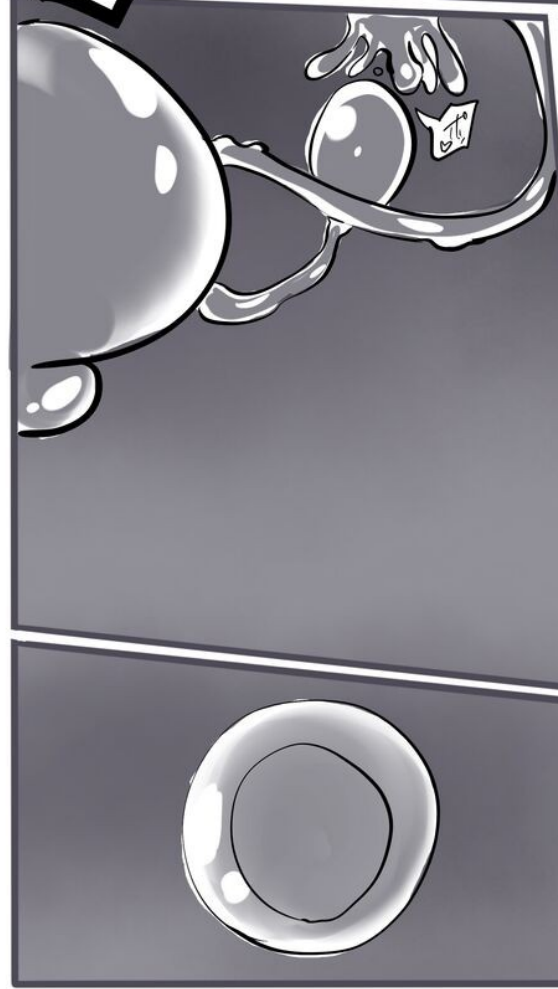
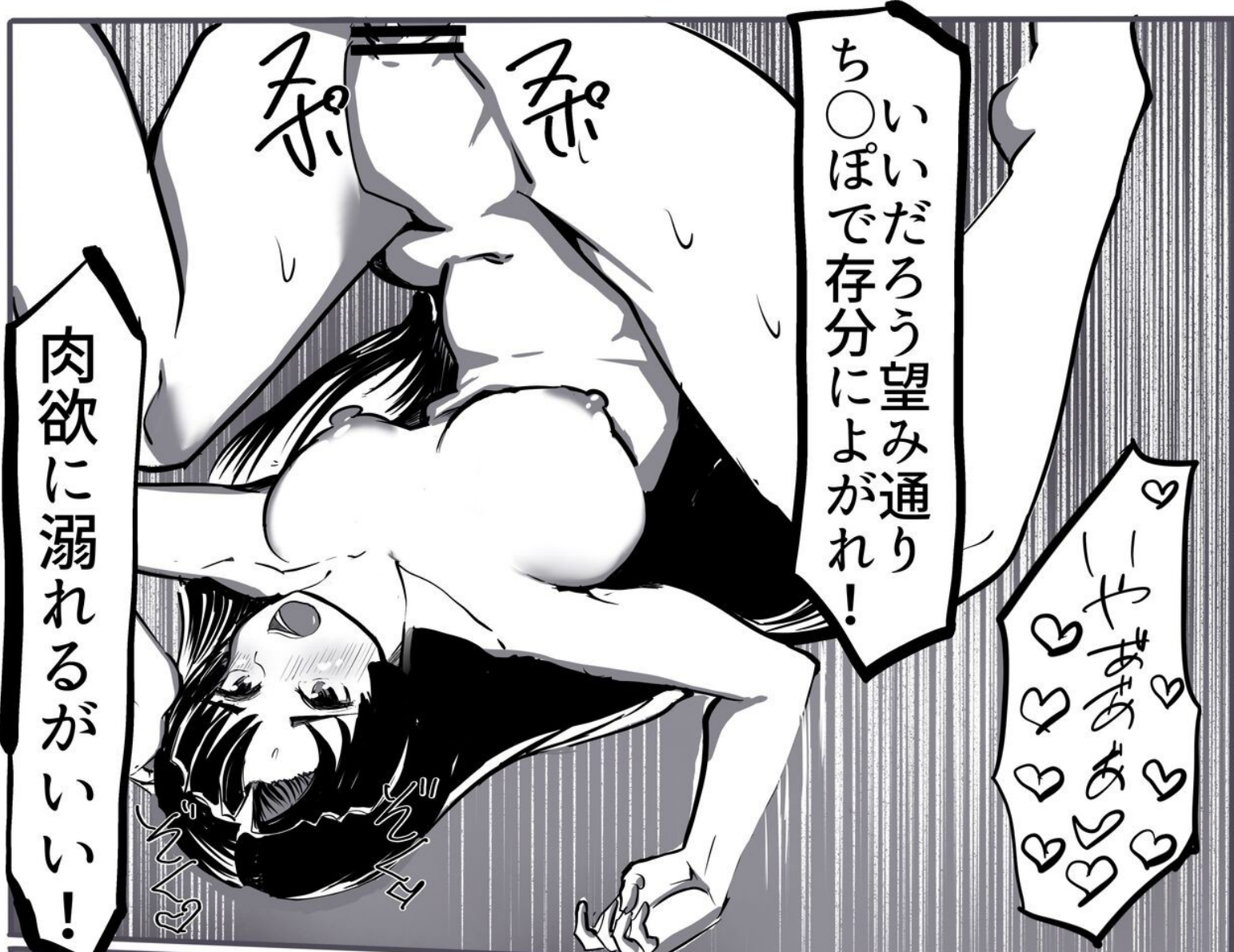
あなたも術を解いて！
お願い！

ザッ！

私のお○こに
おち○ぽ挿れて下さい！

貴方の子を妊娠させて！





気持ちいい♡

セックスがこんなに
気持ちいいモノだったなんて

知らなかった♡

これが女の幸せ♡

鬼のち○ぽが愛しく
思えるなんて♡

くる！

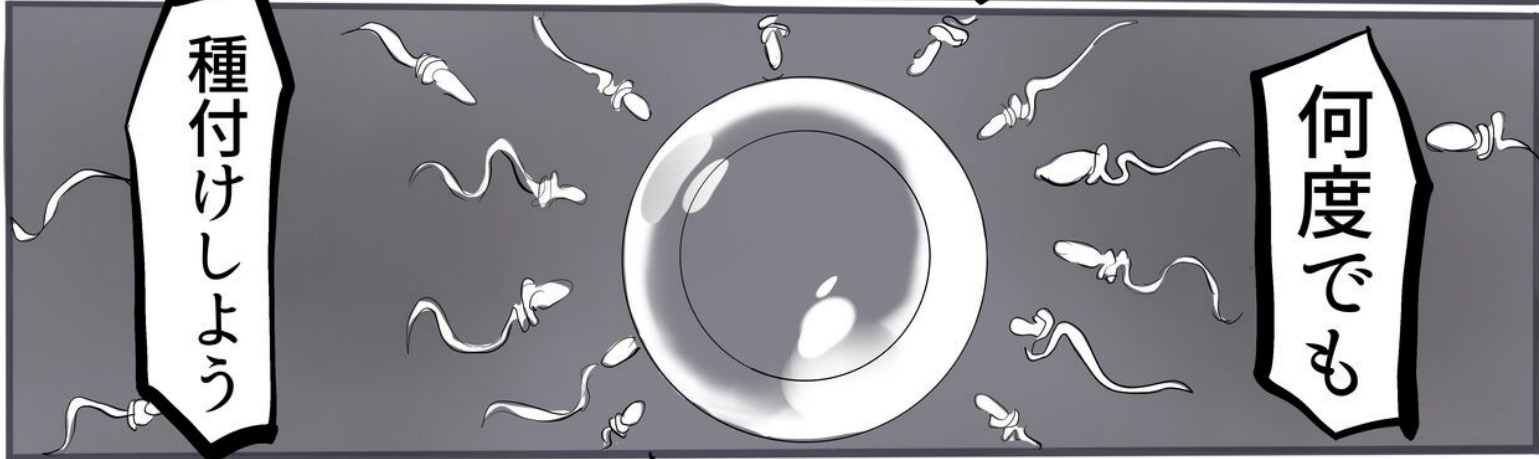
大きな快樂が♡

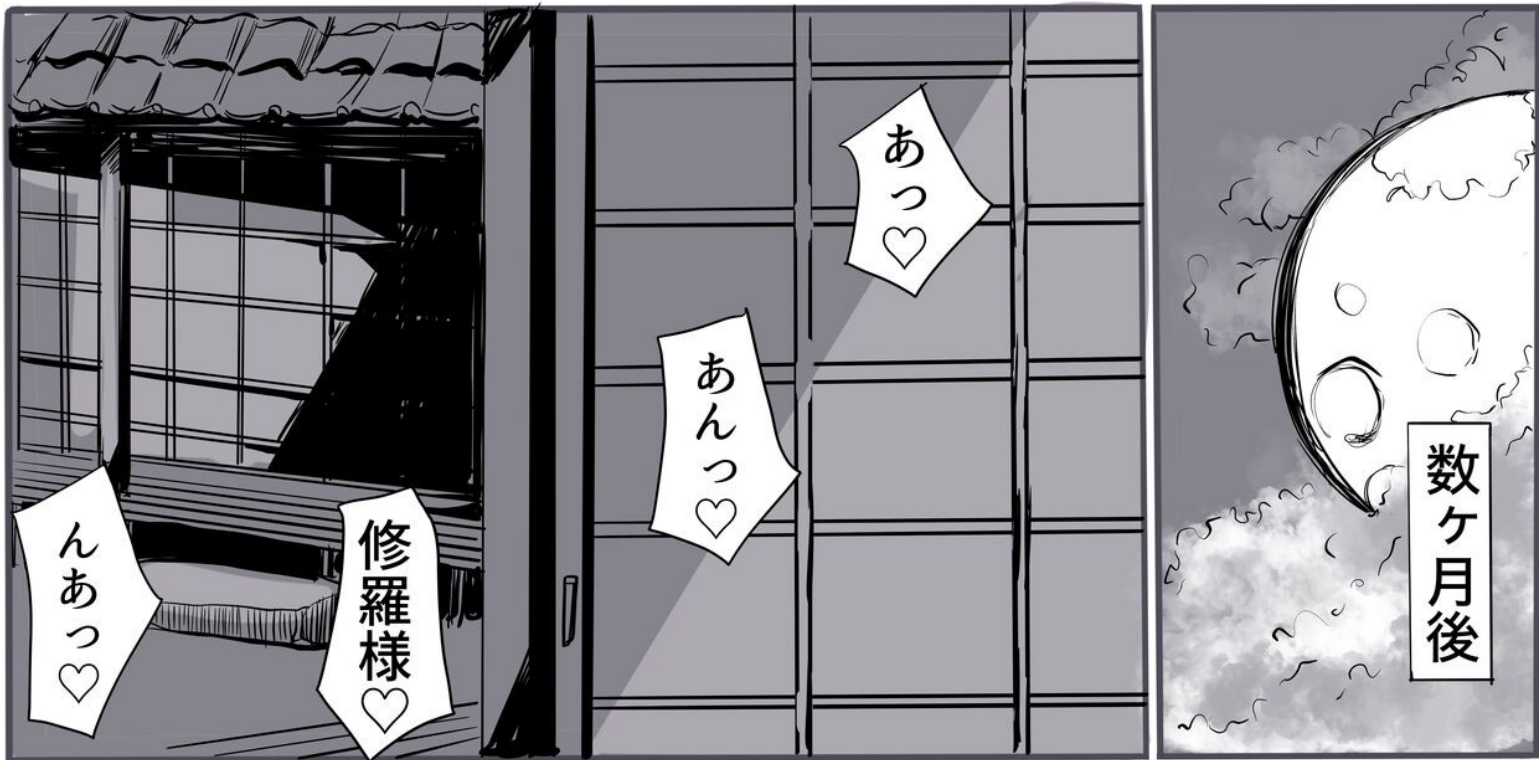
私を攫いに♡

もう戻れない♡

たった一回の絶頂が
私の全てを変えてしまった









子を身ごもり益々
いやらしい躰になったな遥♡

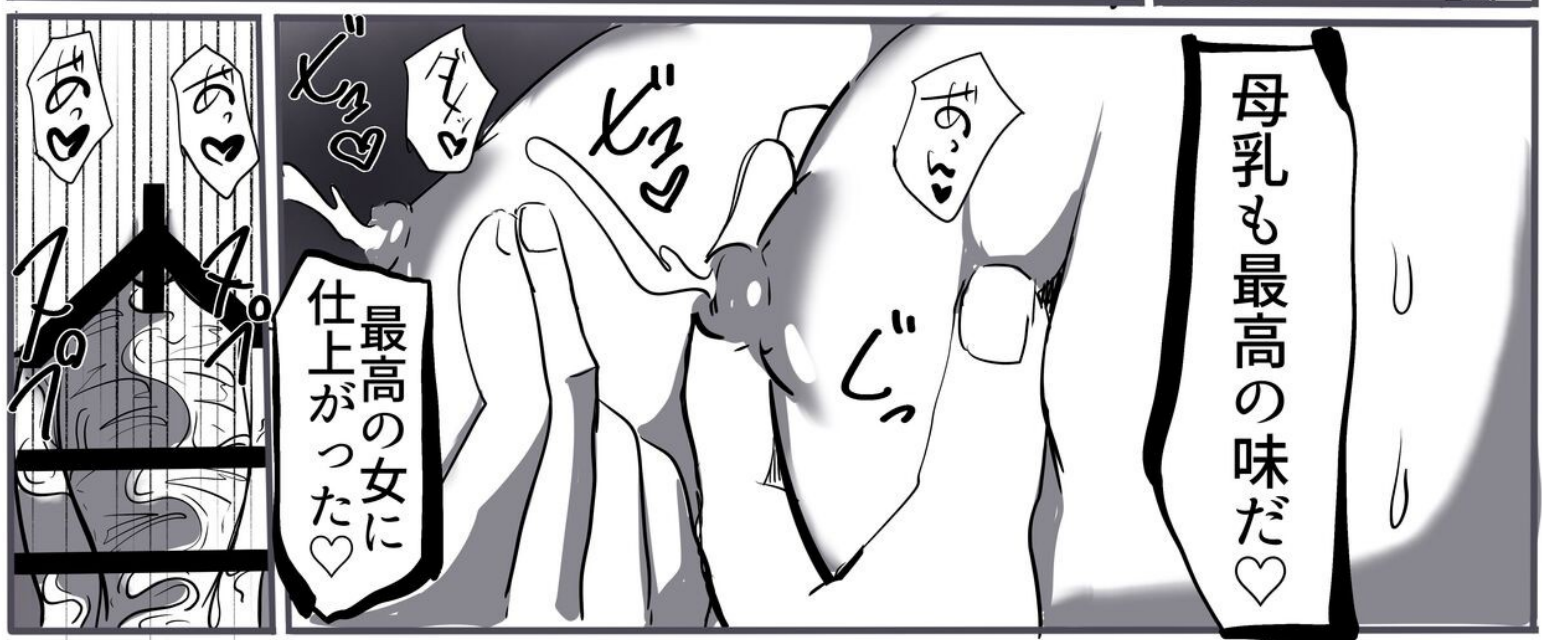
おっぱい♡

おっぱい♡

おっぱい♡

おっぱい♡

おっぱい♡



最高の女に
仕上がった♡

母乳も最高の味だ♡

お前の残りの人生
全て鬼に捧げよ！

鬼の母となるのだ！

のあぁん



END